

第 2 章 基本目標別基本施策

【基本計画の見方】

基本施策

将来都市像を達成するために、町が取り組む内容を端的に示したものです。

目指すまちの基本目標

将来都市像の実現に向けて、本町が目指す5つの基本目標です。

I 健康で元気に暮らせるまち

施策の大綱

基本目標に対応した、基本となる施策の方向性です。

1

誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

心身ともに健康な体づくりを目指し、各種健（検）診や相談体制などを充実し、生活習慣病予防対策やメンタルヘルスに努めるとともに、誰もが健康づくりに取り組むことができる機会や環境を提供するため、イーストプラザいこまい館などを活用した健康づくり支援、学校や保育園、地域などと連携した食育などを進めます。

現状・課題

10年後の姿、施策の展開方向に関連し、本町の現状と、対応すべき課題をまとめたものです。

現状・課題

平成15年3月に健康増進計画「いきいき東郷21」を策定し、平成16年度には健康づくりの拠点であるイーストプラザいこまい館を整備しました。イーストプラザいこまい館では、乳幼児を対象とした健康診査を始め、特定健診・特定保健指導や健康教育、がん検診を実施するとともに、平成21年4月には1階にトレーニングジムを新設し、既存の運動浴室との一体的な利用を進め、様々なプログラムで介護予防、メタボリック症候群や腰痛の予防などを行っており、平成21年度一年間で57,063人の利用がありました。

今後は、生涯を通じ、町民一人ひとりが主役となった健康づくりを支援する必要があることから、地域ぐるみで健康づくりを推進できる体制や各種健診等を受診できる保健体制の確立、継続的に生活習慣を改善していくことができるための生活環境の整備が重要となります。

また、健康を阻害する要因として感染症は、大きな脅威となっているため、日ごろからその発症予防を行うとともに、万一の発生時には迅速な対応がとれる体制の整備が必要となっています。

一方、家庭では保護者の就労形態の多様化により家族が揃って食事をする機会が少なくなり朝食抜き、個食、孤食、コミュニケーション不足等が見られます。このような食習慣の乱れから子どものこころと体の成長に悪影響を与えていることが懸念されるため、学校等と家庭が連携した食育の推進が必要です。

10年後の姿

施策の大綱に示された考え方に沿って、当該施策で実現を目指す「将来の東郷町の姿」や「生活像」を示したものです。

10年後の姿

- 町民と行政との協働による健康づくり事業が定着しています。
- 町民一人ひとりが「健康」への目標を持ち、ライフステージ^{※1}に応じた正しい生活習慣を身につけています。
- 食を通じた心身ともに健康な子どもの育成や、家族との良好な関係づくりができています。

目標指標

「10年後の姿」の達成状況を測定するために設定した指標です。

目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
健康づくりなどの保健事業に満足している町民の割合	%	22.5	28.0	33.0
地区の健康講座参加者数	人	1,288	1,700	2,200
胃がん検診受診率	%	8.3	30.0	50.0
乳がん検診受診率	%	25.7	40.0	50.0
午後9時前に就寝する子どもの割合	%	27.5	40.0	50.0

目標値

目標指標の現状値を5年後、10年後にどこまで達成していくのかという目安の値を示したものです。

施策の体系

「10 年後の姿」を達成するために取り組む施策を体系化したものです。

施策の体系

誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

- (1) 一次予防^{注2}の推進
- (2) 地域ぐるみの健康づくりの推進
- (3) 予防対策の充実及び長寿社会に対応した保健体制の確立
- (4) 感染症予防の推進
- (5) 食育の推進

施策の展開方向

(1) 一次予防の推進

- ◇ イーストプラザいこまい館を拠点に、健康情報を発信することにより、健康づくりの場として健康づくりを総合的に支援します。
- ◇ ライフステージ（胎児・幼児期から高年期まで）ごとの健康課題に対する相談体制の構築により、積極的に健康づくりや一次予防対策に取り組みます。

(2) 地域ぐるみの健康づくりの推進

- ◇ 町民が地域で主体的に健康づくりに取り組める環境づくりを推進します。
- ◇ 健康や生活習慣に関わる様々な関係者・関係団体がそれぞれの特性を生かしながら地域での健康づくりを支援します。
- ◇ 地域での健康づくりを推進するボランティアの活動を支援します。*

(3) 予防対策の充実及び長寿社会に対応した保健体制の確立

- ◇ 乳がん自己検査法や子宮頸がん予防ワクチンを始め、がん予防に関する正しい知識の普及を図ります。
- ◇ がん検診の受診を促進し、早期発見・早期治療を支援します。
- ◇ メタボ予防健診の受診を促進し、結果に応じて生活習慣の改善や悪化を防ぐための援助をします。
- ◇ うつ病を予防するため、事業所などと連携して、メンタルヘルスに関する取組を促進します。

(4) 感染症予防の推進

- ◇ 予防接種に関する正しい知識の普及を図り、接種率の向上に努めます。
- ◇ 感染症予防についての正確な情報提供と意識啓発に努めます。

(5) 食育の推進

- ◇ 健康づくりセンターや児童館等において食育事業を実施し、子どもの成長過程における食習慣の大切さについて啓発します。*
- ◇ 保育課程における食育計画に基づき、食に対する関心が高まるようします。*
- ◇ 学校給食を活用した食に関する指導を実施し、学校における食育の推進を図ります。への地場産物の活用を推進します。
- ◇ 「早寝・早起き・朝ごはん運動」を積極的に推進します。*
- ◇ 自然の恩恵に感謝し、食に関わる活動への理解を深めるために、学校等において農作業を行います。*

協働によるまちづくりの考え方

健康づくりリーダーや食生活改善推進員による健康づくりを引き続き支援するなど、地域の人材や施設等の資源を生かし、町民と行政との協働による健康づくり事業を推進します。

町民の行動指針

- ◇ 町民がみんなで協力し合って健康づくりに取り組みます。
- ◇ みんなで誘い合い各種健康診査を受診します。

行政の行動指針

- ◇ 家庭・地域・社会全体で健康づくりを支援し、健康づくりを推進します。
- ◇ 町民参画による健康づくりを推進します。

関連計画

- ◆ いきいき東郷 21
- ◆ 東郷町次世代育成支援中期行動計画

用語解説

- 注1 ● **ライフステージ**：年齢に伴って変化する生活段階、年代別の生活状況。
- 注2 ● **一次予防**：生活習慣の改善、健康教育による健康増進を図り、疾病などの発生を予防すること。

用語解説

文中で使用している専門用語などの説明です。

施策の展開方向

計画期間内に取り組む内容を示したものです。

★（星マーク）

協働まちづくりフォーラムからの提案箇所を示したものです。

協働によるまちづくりの考え方

基本施策の推進に当たり、協働で取り組むべき主な施策についての協働の考え方を示したものです。

町民の行動指針 行政の行動指針

協働のまちづくりの考え方に基づいて、町民に期待される役割、行政が果たすべき役割を示したものです。

関連計画

基本施策に関連する、町などの関連計画を示したものです。